

民謡の全道大会で優勝！

～得意の『どさんこ甚句』を堂々と 阿部姫々輝さん(南小4年)～
じんく



4月21日(日)に旭川市で開催された「第二十二回日本郷土民謡民舞全道大会」に阿部姫々輝(ひびき)さん(南小4年・民謡翼声会所属)が出演し、9組が参加した民謡コンクール少年少女二部(小4～6年)で頂点に輝きました。披露した『どさんこ甚句』は、昨年同大会に出演した際も唄った“十八番”。「前回は準優勝だったので、優勝できるように1年間頑張った。」との言葉に家族も笑顔で頷きました。

三味線演奏者の姉、涼楓(すずか)さん(南中2年)の影響で2年前に民謡を始めた姫々輝さん。全国大会での入賞経験もあるお姉さんの姿にずっと憧れていたそう。次の目標は？に対して「お姉ちゃんの三味線演奏と一緒に唄って、全国大会で優勝したい。」と答えてくれました。

地域おこし協力隊 通信 Vol.7



地域おこし協力隊 青木千佳さん

昨年10月に埼玉県から着任。旭川市出身の陶芸家。旅と天体観測が好き。



～氷河期の森～

特別に長かった連休も明けて、気がつけば田んぼには水が入り、夜になるとカエル達のオーケストラが聴こえるようになりました。白樺も芽吹いて、街中の樹々も緑で覆われています。南幌町に引越して、街中を歩くと、日本は島国とはいえず縦に細長いので、所により植物の様子が異なります。私が以前住んでいた所は埼玉県の武蔵野平野で樺や桑、榎など、昔の人が薪に使うための雑木林が主でした。

先日、宮城県にある地底の森ミュージアムで、面白いものを見ました。小学校の建設予定地の約五メートル下から、二万年前(氷河期)の旧石器時代の焚き火の跡が見つかり、掘り進めた結果、氷河期の針葉樹林の木の根や倒木(多くはトミザワトウヒという絶滅した針葉樹)が奇跡的に真空状態になった泥の中から発掘されました。奇跡的に残った森は特殊な保存処理剤を使って腐敗を防止して今も見ることが出来ます。旧石器時代の人達が暮らした森を二万年の時を超えて見られることにも驚いたのですが、研究を進めた結果これと似た針葉樹林の森が、南幌町からは少し離れた上川町の浮島湿原でよく見られると聞いて親しみを覚えました。二万年の途方もない時を経ても変わらない植物の完成度と北海道の自然に、タイムトラベルをした様なわくわくした気持ちになりました。

Instagram更新中！

南幌町の美味しい食べ物や絶景を発信していますのでフォローお願いします！



アンケートを実施しました

～町内巡回バス～

町内を運行する巡回バスについて、運行に関するニーズを把握するため、本年3月7日より4日間にわたり、バス利用者への聞き取りによるアンケートを実施しました。

アンケート結果

Q 運行希望の曜日はありますか？ ※現在運行している曜日は火・木曜日

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土・日曜日
0%	No.2 40%	0%	No.1 42%	11%	0%

現在運行している曜日を多くの方が希望しています。

Q 今日の行先はどこですか？

病院	買い物	温泉	あいくる	町外	その他
No.2 25%	12%	No.1 41%	4%	4%	8%

日常生活における交通手段として利用されています。

Q 現在の巡回バスに満足していますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
No.1 71%	No.2 19%	4%	0%	4%



回答いただいた利用者に現行の巡回バスについて概ね満足いただいています。

～意見・要望等～

- ・買い物、通院に欠かせない
- ・巡回バスの仲間に会うことが楽しみ
- ・まっすぐ行き先に行かない不便さはあるが、巡回バスがなければ困る 等

アンケート結果は、今後の巡回バスのさらなる利便性向上のための貴重なデータとさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

「住みたくなる」「投資したくなる」、「選ばれる」さっぽろ圏域

～札幌市と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結～

南幌町を含む8市3町1村（札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、小樽市、岩見沢市、長沼町）が3月29日、互いに協力して行政サービスを提供する「さっぽろ連携中枢都市圏」の連携協約を結びました。

連携中枢都市圏は、各市町村が協力して、教育や医療、福祉などの公共サービスに取り組み、活力ある社会経済を維持するために形成する圏域です。構成市町村がそれぞれの特徴を活かしながら取り組むことにより、住みたくなる人が多くなる、投資したくなる会社が増えていく、さまざまな面で「選ばれる」圏域を目指していきます。

ロゴマークは、札幌市立大学デザイン学部の石井桃子さんがデザインしました。

5つの同心円は五線譜を、星は圏域内の12市町村を表していて、美しいメロディーを奏でるために圏域内の1つの市町村も欠けずに、一致団結していくという想いが込められています。



架空請求文書には落ち着いて対応してください！

【南空知消費生活相談室より】

訴訟通知センターと名乗る機関から文書が届いたと、南空知消費生活相談室に相談がありました。これは、身に覚えのない団体から「契約不履行による訴訟が提出された」と不安を煽り、民事訴訟を理由に一人での問い合わせを強要し、訴訟の取り下げを相談するよう誘導されます。

【注意事項】

- 訴状が郵便受けに投函されることはありません。
- 郵便局員が名宛人に手渡すのが原則で、受け取りの際に署名か押印が求められます。
- 連絡してしまうと個人情報を知られ、その情報をもとに、さらに金銭を要求される可能性があります。心当たりがなければ決して相手に連絡しないようにしましょう。



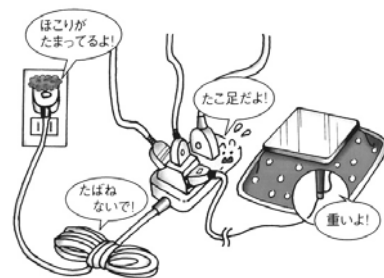
南幌消防からお知らせです

南空知消防組合南幌支署(☎378〜2619)

電気火災に注意しましょう！

電気と家電製品によってよりよい生活を送ることができますが、使用方法を誤ったり、これくらいは大丈夫と油断したりすると、思わぬ事故や火災に結びつくことがありますので、次のことに注意して使用しましょう。

- 電気コードを束ねない（電気コードが高温になり、絶縁の劣化や出火につながります）
- タコ足配線をしない（1ヶ所のコンセントで利用できる電力は1500Wまでです）
- 電気コードが家具などの下敷きにならないようにする（コード内で銅線同士が接触します）
- コードを釘やステップルで打ちつけしない（コード内で銅線が断線したり、銅線同士が接触します）
- コンセントからプラグを抜くときはコードを引っ張らない（銅線の一部が切れ、出火につながります）
- コンセントの差込み口はこまめに掃除する（ほこりなどがたまると電気が流れて出火につながります）



危険物安全週間が始まります

危険物安全週間推進標語 『無事故への 構え一分の 隙もなく』

6月2日(日)〜6月8日(土)の1週間を危険物安全週間として、ガソリンや軽油、灯油等の危険物の保管・取扱いに関して注意を呼びかけています。危険物の誤った使用は爆発、火災等の大事故につながります。また漏洩事故（特にホームタンクから灯油の漏洩）は、本人はもとより、近隣住民にも多大な損害を与えることになります。

今一度、周囲にある危険物の確認、点検を行ってください。

- ご自宅にどんな危険物があるのか。
- ホームタンク本体及び配管に劣化、損傷はないか。
- ガソリン、軽油、灯油は適切な容器で保管しているか。
- セルフ式ガソリンスタンドでは決められた手順に従って操作しているか。

